

ミニ近畿秋田 47 号
創立 120 周年記念特別号



秋田県民歌

倉田 正嗣 作詞
高野 辰之 修正

Moderato

しゅう れい む ひ な る ちやう かい さん - よ きやう
ら ん ほ え た つ お が は ん と う - - よ し ん
び の と わ だ - は た ざ は と - と も に せ か
い に - な を - え し ほ と り の - こ す い さ ん
す い - み な - こ れ し の く に あ き た



一、秀麗無比なる鳥海山よ

狂瀾吼え立つ男鹿半島よ

神秘の十和田は田沢と共に

世界に名を得し誇の湖水

山水皆これ詩の国秋田

二、廻らす山山霊気をこめて

斧の音響かぬ千古の美林

地下なる鉱脈無限の宝庫

見渡す広野は渺茫霞み

黄金と実りて豊けき秋田

三、篤胤信淵巨人の訓

久遠に輝く北斗と高く

錦旗を護りし戊辰の栄は

矢留の城頭花とぞ薫る

歴史はかくわし誉の秋田

四、民族勝れて質実剛毅

正義と自治とのさとしを体し

人材遍く育みなして

燦たる理想に燃え起つ我等

至純の郷土と拓かん秋田

ご挨拶

近畿秋田県人会 会長 畠山圭司



近畿秋田県人会は、明治29年秋の創立でここに120周年を迎えました。これもひとえに永年にわたる会員の皆様の郷土愛とご尽力、秋田県を始め各方面からのご支援・ご鞭撻の賜物と深く感謝申し上げます。

また本日は秋田県副知事中島英史様を始め多数の来賓のご臨席を賜り、また会員のご家族や友人知人ほか大勢の皆様にご参加いただき創立120周年記念式典ならびに祝賀会を挙行できますこと、誠に有難く厚く御礼申し上げます。

さて、平成8年10月に発刊された近畿秋田県人会100周年記念誌によりますと、近畿秋田県人会は明治29年秋に内藤湖南先生を中心に8～9名が語り合っ在阪秋田県人会として創設されました。当時は会員との連絡を取るだけでも大変な時代だったと想像されますが、明治33年には後に学会や政界、綿紡業界、関西の財界の重鎮になられた町田忠治先生、庄司乙吉氏他20名程が参加して会の基礎が確固たるものとなったと記録されています。

爾来120年、紆余曲折を経て現在約240名の会員で構成される県人会に成長し、親睦行事や同好会活動、故郷スポーツ選手団の応援等を中心に多彩な活動を展開しております。しかし、残念ながら会員数は創立100周年当時の400名には遠く及びません。そこで創立120周年を契機に会員増強への取組みをさらに強力に進めてまいりたいと考えています。

そのための課題として、ホームページのメンテナンス態勢を強化し適時的確な情報発信ができる態勢を整えること、親睦会他の活動内容をより魅力あるものに充実・刷新すること、新しい事業を掘り起こす努力を続けること、に重点をおいて進めてまいりたいと存じます。

ごく当たり前のことですが決して簡単なことではございません。時代の変化にも即応しながら、みんなで知恵と力を出し合っ取組んでまいりたいと存じます。会員の皆様には今後共何卒よろしくお願い申し上げます。

皆様、本日はご多用のところご臨席賜りまして本当に有難うございます。皆様の益々のご健勝とご多幸をお祈り申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。

近畿秋田県人会120周年に寄せて

秋田県知事 佐竹敬久

近畿秋田県人会の創立120周年を心からお祝い申し上げます。

明治29年の創立以降、120年もの長きにわたり、県人会のつながりを次の世代に引き継ぎ、脈々と活動を続けてこられたことは、会員の皆様の深い郷土愛と固い結束、そして歴代の会長様をはじめ諸先輩方のリーダーシップがあってこそ成し得たものであり、皆様の御努力に心から敬意を表します。



また、甲子園や花園など、近畿地区で開催されるスポーツ大会において、県人会の皆様が一致団結して、本県からの出場チームに御声援くださるなど、常日頃から、「ふるさと秋田」を熱く応援していただいていることに対し、改めてお礼を申し上げます。

さて、本県をめぐる出来事では、8月に、北秋田市出身の大相撲幕内力士、豪風関へ秋田県県民栄誉章を贈呈いたしました。豪風関は、御当地の3月場所において、本県出身力士最多の幕内通算507勝を達成されたほか、土俵の外でも、県内の学校・福祉施設を精力的に訪問され、身近な郷土力士として県民に愛されております。

また、リオデジャネイロオリンピック・パラリンピックでは、本県在住のカヌー競技の佐々木将汰選手、翼選手御兄弟、本県出身の男子マラソンの佐々木悟選手、車椅子バスケットボール競技の藤井新悟選手が出場し、上位入賞はならなかったものの、粘り強く最後まで諦めない姿は、大きな感動と勇気を与えてくれました。県では、「スポーツ立県あきた」を宣言しており、2020年東京大会においても、多くの本県アスリートが日本代表選手として活躍できるよう支援してまいります。

県人会の皆様には、これまでも「ふるさと秋田」に様々な形で御支援をいただいておりますが、今後も、皆様との連携を大切に、秋田の創生の実現を目指してまいりますので、引き続き、近畿と秋田を結ぶ架け橋として、御支援、御協力を賜りますようお願いいたします。結びに、創立120周年を契機といたしまして、近畿秋田県人会が一層発展いたしますとともに、会員の皆様のますますの御健勝、御活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

近畿秋田県人会創立 120 周年に寄せて

(秋田県 25 市町村長からの祝賀メッセージ)



【秋田市長 穂積 志】

近畿秋田県人会創立 120 周年、誠におめでとうございます。
また、皆様には、日ごろからふるさと秋田のため、ご尽力いただいておりますことに深く感謝申し上げます。

さて、本市では、今年 5 月に新庁舎がオープンいたしました。新たな環境のもと、市民の皆様とともに、元気な秋田市づくりを進めてまいりますので、今後も変わらぬご支援をお願いいたしますとともに、会員の皆様のご健勝と貴会の益々のご発展を祈念しております。



【能代市長 齊藤滋宣】

近畿秋田県人会が、創立 120 周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。また、昨年 8 月に兵庫県明石市で行なわれた全国高校軟式野球選手権では、能代高校に対し多くの激励、ご声援をいただき、誠にありがとうございました。お陰様で準優勝することができました。

今後とも、故郷と近畿圏をつなぐ架け橋としてご支援・ご協力をお願いいたします。近畿秋田県人会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝をお祈り申し上げます。



【横手市長 高橋 大】

記念式典並びに祝賀会が盛大に開催されますことに、心からお祝いを申し上げます。そして役員の皆様をはじめ、会員各位のご尽力により、長きにわたり御会が存続してきたことに、ふるさと秋田・横手市民を代表して深甚なる敬意を表する次第であります。旧横手市・平鹿郡 8 市町村が合併した新横手市も早 11 年の年月が経ちましたが、会員の皆様には、今後とも横手市をご愛顧いただきますとともに、益々ご健勝でご活躍されますことをご祈念申し上げます。



【大館市長 福原淳嗣】

近畿秋田県人会様が創立 120 年を迎えましたことを、心よりお慶び申し上げます。本市では、忠犬ハチ公に代表される「秋田犬」を活用した交流人口拡大に取り組んでおり、秋田犬とふれあいができる広場やイベント広場などを大館駅周辺に整備するほか、秋田犬を増やすことも計画しております。これからも皆様のふるさと秋田と秋田犬のまち大館に変わらぬご声援、ご支援を賜りますようお願い申し上げ、お祝いの言葉といたします。



【男鹿市長 渡部幸男】「ナマハゲの里」男鹿市から

近畿秋田県人会創立120周年おめでとうございます。
会員の皆様には、日頃より本市にご支援を賜り深く感謝申し上げます。

男鹿市は、「教育・観光・環境が豊かな文化都市」を目指し、まちづくりを推進しております。平成29年10月には、日本ジオパーク全国大会を男鹿半島・大瀧ジオパークとして開催致します。大地の公園を訪れて頂くようお待ちしております。会員皆様のご健勝とご活躍を心からお祈り申し上げます。



【湯沢市長 齊藤光喜】

近畿秋田県人会が創立120周年を迎えますことを、心からお喜び申し上げます。さて、湯沢市は昨年3月、市制施行10周年を迎えました。これもひとえに、皆さまの温かい御支援、御協力の賜物と心から深く感謝申し上げます。これからも“湯沢ならではの”の様々な魅力を皆様にお届けできるよう努めてまいります。

今後の近畿秋田県人会のますますの御発展と、会員の皆様のご健勝、御活躍を心から祈念いたしましてお祝いの言葉といたします。



【鹿角市長 児玉 一】

近畿秋田県人会が創立120年を迎えられましたことを衷心よりお慶び申し上げます。明治29年の創立から今日までの長年に渡る貴会の活動は、皆様の郷土への誇りと想いに支えられた賜物と、ただただ敬意を表す次第であります。

鹿角市においても、十和田八幡平国立公園が指定されてから節目の年を迎え、PRを進めておりますことから、引き続きご支援をお願い致しますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からお祈り申し上げます。



【由利本荘市長 長谷部 誠】

近畿秋田県人会の皆様におかれましては、明治29年の創立以来、120年の長きにわたり、「ふるさと秋田」発展のため、多大なるご尽力を賜り、心より敬意と感謝申し上げます。

本市は、合併十周年を機に「力強く躍進する由利本荘市」を目指し新たな一步を踏み出しておりますので、皆様には、ふるさとの応援団として、更なるご支援、ご協力をお願い申し上げます。

結びに、「近畿秋田県人会」の益々のご発展をお祈りいたします。



【潟上市長 石川光男】

近畿秋田県人会の創立120周年をお祝い申し上げますとともに、歴代会長並びに会員各位に対し、衷心より敬意を表します。

平成17年3月に天王町・昭和町・飯田川町が合併して誕生した潟上市は、日本海と八郎湖の豊かな自然環境に恵まれ、また、県内では年少人口割合も高く、活気のあるまちであります。お近くにお越しの際は、本市にも是非お立ち寄りください。

結びに、貴会ますますのご発展と皆さまのご健勝をご祈念申し上げます。



【大仙市長 栗林次美】

市民を代表してお祝い申し上げますとともに会員の皆様方がふるさと・秋田をおもい、120年もの間、多岐にわたる活動を展開されておりますことに心より敬意を表します。大仙市は、広大な仙北平野と奥羽の山々が織りなす四季折々の美しい風景とその自然の恵みからできたおいしいお米やお酒と花火が自慢のまちであります。秋田にお越しの節はぜひお立ち寄りください。この120周年を契機に県人会の益々のご発展と秋田の真心と誇りを次の世代に継承されますことをご期待申し上げます。



【北秋田市長 津谷永光】

近畿秋田県人会創立120周年を心からお慶び申し上げます。北秋田市は、鷹巣・合川・森吉・阿仁の4町が合併し、一昨年10周年を迎えました。

世界一の太鼓、マタギ文化、森吉山を代表する雄大な自然、北あきたバター餅等の地域の宝や東京都と当市を70分で結ぶ大館能代空港を活かして、ふるさと北秋田市は一層の発展に向け邁進しております。

近畿秋田県人会の益々のご発展と、皆様のお越しを心より祈念して、お祝の言葉といたします。



【にかほ市長 横山忠長】

近畿秋田県人会がこの度創立120周年を迎えられましたことを、心からお祝い申し上げます。また、会員の皆様には、ふるさと秋田の発展の為に、日頃から積極的にご尽力を賜り厚く御礼申し上げます。

にかほ市では、鳥海山などの豊かな自然と歴史や文化、そして産業と地域資源の魅力を最大限に引き出し、「にかほ」の創生の実現に向けて取り組んでおります。皆様方には、引き続きご支援賜りますようお願い申し上げます。



【仙北市長 門脇光浩】

近畿秋田県人会創立120周年、誠におめでとうございます。
創立120周年に心からの祝意と敬意を表します。

さて仙北市は、誕生して10年が過ぎました。角館・田沢湖と言った観光資源を活かし、次の10年の姿を「小さな国際文化都市」としました。日本の歴史と文化を世界に発信し続けます。また国家戦略特区の指定を力に、地方自治の新たな可能性を探り、近未来産業が花開くまちづくりを進めます。

近畿秋田県人会の皆様には、ふるさと秋田発展のため、今後ともご協力をどうかよろしく願います。



【小坂町長 細越 満】地域資源を活かしたまちづくり

旧小坂鉄道を活用した「小坂鉄道レールパーク」では、上野・青森間を走行した「寝台特急列車あけぼの」の車輛を宿泊施設として活用し、多くの方々に訪れていただき喜んでいただいています。また、日本屈指の景勝地である十和田湖は国立公園指定80周年を迎えました。

創立120周年を迎えられました近畿秋田県人会の皆様には心よりお喜び申し上げますとともに、機会がありましたらぜひともわが小坂町を訪れていただければ幸いに存じます。



【上小阿仁村長 小林悦次】

近畿秋田県人会が創立120周年を迎えられたことをお祝い申し上げます。

秋田を遠く離れてふるさとを想う皆様の強い気持ちが120年の活動につながったものと思っております。

皆様の気持ちに答えられるよう、村でも様々な施策に取り組んでまいります。

結びに、近畿秋田県人会の益々のご発展と会員の皆様のご健勝とご活躍を心からご祈念申し上げますお祝いのことばといたします。



【藤里町長 佐々木 文明】

この度、近畿秋田県人会の創立120周年をお迎えされましたこと、誠におめでとうございます。会長様はじめ役員の皆様方の不断のご努力の賜物であり、深く敬意と感謝の意を表します。秋田県、藤里町はいつで変わらない「ふるさと」として皆様をお待ちしております。

近畿秋田県人会が、益々充実発展し、また皆様のご健康で、秋田県の心強い応援団であり続けてくださいますようご祈念申し上げます、お祝いのメッセージといたします。



【三種町長 三浦正隆】

創立120周年誠におめでとうございます。

北前船の盛んな時代、秋田と大阪は大変近い存在で、上方文化の影響は秋田の方言や生活様式の中に今でも散見できます。

本町は国内産じゅんさい生産量日本一の町として、今年もテレビ、新聞、雑誌など多数取り上げていただきました。じゅんさいと言えば関西でもなじみの食材。どうかよろしく願い申し上げます。

近畿秋田県人会の益々のご発展と、会員の皆様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。



【八峰町長 加藤和夫】

先人から連綿として続く「近畿秋田県人会」の120周年、誠におめでとうございます。秋田県人の誇りと粘り強さで近畿圏発展のためにご尽力されてこられた会員皆様のご活躍に深甚なる敬意を表します。

東に世界自然遺産「白神山地」、西に「日本海」を望む八峰町の自然は、故郷を思う皆様の心の風景として大切に守り続けます。

「近畿秋田県人会」の今後益々のご発展をご祈念申し上げます。



【五城目町長 渡邊 彦兵衛】

近畿秋田県人会創立120周年、誠におめでとうございます。会員の皆様方におかれましては、様々な分野でご活躍のことと心からお慶び申し上げます。

この120周年を機に、会員相互の絆をより一層深められるとともに、これからもふるさと秋田の発展のため、変わらぬご支援・ご協力を賜りますよう心からお願い申し上げます。

結びに、貴会の更なる発展と皆様方のご健勝とご多幸をご祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。



【八郎潟町長 畠山菊夫】

創立120周年おめでとうございます

八郎潟町は平成の大合併で自立の道を歩み、面積が17km²と今なお県内で一番小さい町です。お陰様で、町ゆるキャラの「ニャンパチ」や踊って楽しい「一日市盆踊り」、定九郎と爺チャとコミカルな一直踊りが人気の「願人踊」、珍しい「あんごま餅」など、依然として評判です。この秋には、県人会様のちょうど半分の町誕生60周年を迎えます。「ふるさと秋田」を想う皆様方に、ますます愛される八郎潟町をめざします。共に頑張りましょう。

【井川町長 齋藤多聞】



近畿秋田県人会の創立120周年まことにおめでとうございます。

今日まで歩まれてきた長き歴史に思いをはせると、会を立ち上げた先人達のご労苦や引き継いでこられた歴代の会員皆様の熱意と郷土愛を感じずにはられません。

貴会が秋田との重要な架け橋として、また強力な応援団として、これからもご協力をお願い申し上げるとともに、故郷を同じくする方々の親睦を深め、益々発展されることを祈念しお祝いの言葉といたします。

【大瀧村長 高橋浩人】



近畿秋田県人会創立120周年おめでとうございます。

近畿圏における秋田県出身者の交流、親睦、情報発信の場として、大きな役割を果たしてきたことに心から敬意を表します。

大瀧村には近畿圏から17家族が入植し、今でも深い繋がりを持っています。また、進学や就職等で近畿圏に住む村出身者も少しずつ増えてきています。

今後も秋田県出身者の「拠点」として、近畿秋田県人会のご発展をご祈念申し上げます。

【美郷町長 松田知己】 「水の郷より」



創立120周年おめでとうございます。美郷町は横手盆地中央部にある「美味しい」あきたこまちの郷です。そして町内に126カ所の清水がある水の郷です。そのため、「とても美味しい」日本酒も造られております。また、町独自の白色ラベンダー「美郷雪華」を活用して特産品も製造しております。皆様にはこうした地元の魅力、今後もPRいただけますようお願い致します。

そして、近畿県人会の更なるご発展、心よりお祈り致します。

【羽後町長 安藤 豊】



近畿秋田県人会の創立120周年まことにおめでとうございます。心からお祝いを申し上げます。

近畿圏の皆様とは、誘致企業との交流や、「西馬音内盆踊り」のファンを通じたつながりなど多くのご縁があり、これまで様々な面で温かいご支援を頂戴してきました。

さて、全国的に人口減少や産業の衰退が叫ばれている中、当町では地域活性化の起爆剤として、道の駅「うご」を本年7月に開業いたしました。この施設は、地域の特色をふんだんに盛り込んでおり、内外のお客様から高い評価をいただいております。

今後も、創意工夫に富んだ施策を展開していきたいと考えておりますので、引き続き皆様のお力添えをよろしくようお願いいたします。結びに、貴会の今後益々のご発展と会員各位のご健勝をお祈り申し上げます。お祝いの言葉といたします。



【東成瀬村長 佐々木 哲男】

近畿秋田県人会の創立120周年を心よりお慶び申し上げます。また、会員の皆様にはふるさと秋田のために多大な貢献をいただいておりますことに深く感謝申し上げます。

東成瀬村では、「小さくてもキラリと光る仙人郷」を目指して地域創生に努めておりますので、引き続き村政へのご協力を賜ればと存じます。

終わりに、近畿秋田県人会の更なるご発展と会員各位のご活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉といたします。

120周年記念表彰者

秋田県知事感謝状授与

畠山 圭司

県人会功労者表彰 (五十音順)

安樂 武夫

戎谷 鎮雄

加藤 俊勝

熊谷 竹雄

小西 久夫

須藤美智子

高橋 ミツエ

萬田 耕

三浦 昭爾

感謝状贈呈

齋藤 功

船木 光悦



鳥海山

“賑わった第15回納涼祭”

梅雨時期の合間、晴天に恵まれながら第15回目を迎えた納涼祭が7月16日（土）新入会員6名を含む83名と前回は大幅に上回る参加者のもと、にぎやかに開催されました。

季節の食材として秋田より取り寄せた、じゅんさい・えご・おくら・まいたけ、又、お酒として、高清水・出羽鶴・刈穂、と故郷を思い出す数々の品を皆さんで味わいながら楽しいお祭りとなりました。

アトラクションは岳風会の皆さんによる「詩吟」から始まり、納涼祭定番、宮内さんの「新舞踊」甲田さん、萩原さんによる「秋田甚句」（おさるさんの特芸がとてもユーモアで大爆笑）けいおん同好会による「秋田があるさ」の替え歌、今回初となるマンドリンの合奏、三味線、尺八とのコラボ「神田川」、民謡友の会の「タント節、秋田盆唄」、踊りの会コーラス「浪花恋しぐれ」、福田一座の男性をモデルにした「フラダンス」と続き、最後は「ドンパン節」を会場一杯全員で踊り打ち上げとなりました。

年々回を重ねるごとに芸達者が増え少々時間オーバーとなりましたが非常に盛り上がりのある楽しいひと時でした。 皆様ご協力有難うございました。

事業部会長 保坂勇光 記

橋本所長の乾杯の音頭で宴がスタート



特別メニュー

いぶりがっこ
じゅんさい





けいおん同好会のステージ



恒例のフラダンス



高校軟式野球応援 有難うございました

8月24日から始まった第61回全国高校軟式野球大会には、北東北代表として能代高校が3年連続17回目の出場を果たし、昨年準優勝の雪辱をと大いに期待しました。

初戦は25日、今年から会場になった姫路球場で奈良の天理高校との対戦となり、五回に1点、八回に1点と優勢に進めたものの、八回裏には適時打と守備の乱れも絡み2点を献上、ついに延長戦に突入、さらに十三回からは、毎回無死走者一二塁から攻撃を開始する緊迫した場面が続くタイブレーク制に突入しました。これは最初は送りバントで走者を二三塁に進め、後続のヒットを待ちますが、能代高校は残念ながら後続を断たれ、ついに十四回裏の天理の攻撃で中前適時打を浴び、2対3xで敗れてしまいました。

ただ、この暑さの中、217球を投げた清水投手以下の選手達と能代から駆け付けた応援団生徒達の頑張りには感心すると共に、大いなる元気をもらいました。暑いスタンドでは、近畿秋田県人会の畠山会長様はじめ会員の皆様に熱烈な応援を頂き、有難うございました。

また、試合に先立つ22日には激励会を催し頂くなど大変お世話様になりました。紙面をお借りして、厚く御礼申し上げます。

平川 長 記



第 98 回全国高校野球選手権大会観戦記

夢が再び舞い降りてきた 大曲工業高等学校

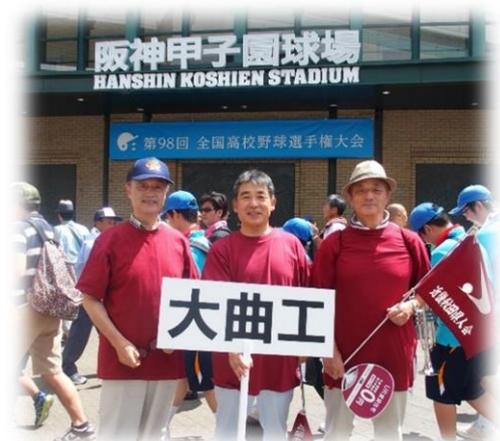
第 98 回全国高校野球選手権大会に、我が母校の夏甲子園初出場で、夢の続きが始まりました。

甲子園公式練習時、選手諸君の硬さが目立ち、暑さにも慣れていない様に見受けられましたが、試合 2 日前の練習では、暑さにも慣れ動きも良く、OBとして手ごたえを感じつつ試合当日をむかえました。アルプス席で胸躍る中第四試合が開始され、対戦相手に先制され、序盤のチャンスに得点できず我慢の展開、4 回にホームランによる得点と共に、県大会決勝戦の展開になりそうな予感の中、中盤押し気味で、敗れはしたが、清々しい気持ちになりました。

甲子園での姿は、選手達だけではなく、我々OBにとっても誇りであり、夢を実現してくれた後輩達に感謝です。これからも夢を見続けようと思います。

近畿秋田県人会の皆様には、8 月 3 日の激励会及び、8 月 10 日試合当日の応援とご尽力頂き、有難う御座いました。

大曲工業野球部OB 富田 智 記





三県合同ビアパーティ



7月24日(日) スーパードライ梅田で青森・岩手・秋田の三県人会の合同ビアパーティーが開催されました。16日(土曜)に納涼祭があったので参加者が少ないかなと心配しましたがなんとビール好き34名が参加し嬉しかったです。今年の幹事県の岩手県の鈴木綾子さんの司会で開会。鎌田龍児会長が畠山会長須郷会長と登壇。開会の挨拶をされ三県大阪合同事務所の橋本秀樹所長の乾杯の音頭で飲み放題となりました。しばしの痛飲会食の後は毎回趣向を凝らした余興の始まりです。

岩手の阿部さんの南部蝉しぐれ、ナタリー長山さんの北国の春。青森の山口さんのふるさと津軽、泰山さんの津軽の花、小嶋さんの岩手の和尚さん。さて秋田県は自慢じゃないけど芸達者揃い。甲田さんとお猿に扮した萩原さんの秋田甚句は大喝采。畠山会長が猿回し役をやってフロアでアンコール。

けいおん同好会からは、広報部会長の安楽さんと佐藤佑廣さんで「思い出の渚」と「秋田があるさ」酔っ払った阿部敏明さんと武田がボーカルで加わって邪魔しちゃったかな。

そして山本タミさんのカッコいい「恋する街角」、小田嶋治さんのマンドリンで「北上夜曲」カラオケはギリギリ時間まで歌いました。総踊りはドンパン節で賑やかに踊りました。閉会の挨拶は次回幹事県の青森県人会須郷会長で楽しくおひらきとなりました。

これで終わる秋田人じゃありません。北新地のジャンカラと天満の山小屋に流れて歌いまくってもっと飲みたい人は三次会まで行ったとか。今年も盛り上がりました。

総務部会長 武田葉子 記





ミニ辞典 あなたは知っていますか

ハタハタ

隠れた素材 水揚げ日本一

海水温の降下により、水揚げ量や魚種が変わります。また魚たちを目をこらして見ると、身の厚みや体色の濃淡など、変化が見て取れます。季節は我々の体感以上に進んでいるのです。冬の到来を告げる魚と呼ばれているハタハタが、水揚げされることがない瀬戸内海側の販売店でも、手に入れやすい価格で見かける事ができ、そんな季節の移ろいを感じさせます。ハタハタと言えば「秋田音頭」で有名な秋田、それに石川、鳥取の特産として認識されていることが多いのですが、実は水揚げ量で兵庫県が常に日本一を争っていることをごぞんじでしょうか。



秋田から朝鮮半島までの日本海を回遊するハタハタ。兵庫では、沖合底引き網により水深 200 メートル前後の海より水揚げされています。ウロコが無いので、調理の下処理は楽ですが、体表のヌメリは優しく、こすり取ることが大切です。またハタハタに限るわけではありませんが、すべての魚料理ではエラは必ず外しておきます。

エラを付けたまま煮つけにすると、エラについた汚れやヌメリなどが本来の味や香りを台無しにしてしまうからです。皮は薄く身は柔らかく加熱し続けても硬くなりにくいことから食べやすいのが特徴。他の魚より大粒な卵を抱卵していて、その食感から「ぶりこ」と呼ばれ鍋料理に好まれます。

9月25日(日) 毎日新聞より

日本酒愛好会

軟式高校野球も終わりイベントも一段落した初秋とは言え残暑の残る9月3日土曜日、本年初めての日本酒の会が京阪萱島駅から徒歩15分の会員、船木さん経営のストリートキッズで総勢23名で開催されました。

まず幹事の安樂の音頭で前任者の故三浦行義さんの献杯を行い宴はスタート致しました。準備した秋田の銘酒9本に加え阿部敏明さん差し入れの「一白水成」と会場から寄贈の越乃寒梅、青竹に入れて冷やした「高清水」など、お酒が、そう得意ではない人を除くとやはりひとり五合以上の量での宴開会となりました。

前半はけいおん同好会の石井、柴田、安樂の演奏と歌、また船木さんの計らいで、男鹿からなまはげ2名（内一名は参加の阿部さん）が参加し、盛り上げました。

肴は船木さん経営の男鹿食堂にお願いしたキリタンポやサザエの作りを初め取寄せた熊本はやまうに豆腐、さつま揚げ等々、豊富な食事に後半のカラオケも盛り上がり、楽しい日本酒の会となりました。流れて2次会へは秋田県人会ゆかりの店、みすじ、JOJO、楨へと流れました。11時駅集合で準備頂いた須藤美智子さん、巖さん、小倉さん、田中悦子さん、小林道子さん、田中章さん、古川さん、石井さん、柴田拓さん最後の片付けまで有難うございました。

次回は来春の花見までに開催したいと考えています。場所、お酒のリクエスト等を受け付けますので、ご連絡ください。 日本酒愛好会 2代目幹事 安樂武夫 記





ゴルフ同好会 23 回例会

熊谷さんが初イーグル！！

9月27日（火）愛宕原ゴルフクラブで第23回例会が開催された。参加者は女性4人男性9人計13人、真夏を思わせる暑さの中皆さん元気にプレーを楽しんだ。優勝はネット69.8で回った飯田充宏さん、懇親会で優勝賞金と石黒会長からの銘酒の特別賞も手にしてご満悦。また初イーグルで23回の例会の歴史に新たな記録を残した熊谷郁男さんの話題などで会話がはずみ、楽しい交流のひと時を過ごした。



次回は今年11月15日（火）、飯田さんと佐藤篤子さんが幹事で開催予定。会員以外で参加ご希望の方は、事務局までお問い合わせください。（記 畠山圭司）

会員動向（平成28年6月～9月）

新入会員	出身地	入会日	退会者
後藤明久	湯沢市	H.28.06.10	ナシ
山田 光	京都市	H.28.07.13	
楠田貴康	神戸市	H.28.06.20	
藤原義浩	羽後市	H.28.07.25	
杉山 誠	鹿角市	H.28.09.02	
齋藤 寛	大館市	H.28.09.05	

ご入会おめでとうございます！



広報誌・ホームページ・FACEBOOKに掲載します。

写真・記事募集 koho@kinkiakita.com ^

★秋田県や当県人会関連の各種行事の写真とコメント

★故郷で撮影した写真・コメント

（秋田に帰省された時、以前と大きく変わった所や最新の情報など）

★その他会員の方、絵画・写真・詩・短歌など

ガラケー、スマホ、デジカメ、いずれの画像でも構いません

県人会事務所 広報部会宛。



発行日 平成28年10月22日
編集・発行 近畿秋田県人会
〒530-0001 大阪府大阪市北区梅田1丁目3番1号大阪駅前第一ビル
秋田県大阪事務所内
Tel・Fax 06-4980-5701
メールアドレス : info@kinkiakita.com
ホームページURL : <http://kinkiakita.com/>
FACEBOOK : <https://www.facebook.com/osakaakita.com>